

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成26年2月12日
【四半期会計期間】	第91期第3四半期（自平成25年10月1日 至平成25年12月31日）
【会社名】	豊田合成株式会社
【英訳名】	TOYODA GOSEI CO., LTD.
【代表者の役職氏名】	取締役社長 荒島 正
【本店の所在の場所】	愛知県清須市春日長畑1番地
【電話番号】	名古屋（052）400 - 5131
【事務連絡者氏名】	経理部長 後藤 敏夫
【最寄りの連絡場所】	東京都千代田区丸の内二丁目2番1号（岸本ビル） 豊田合成株式会社 東京営業所
【電話番号】	東京（03）3213 - 5681
【事務連絡者氏名】	東京営業所長 渡邊 克敏
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号） 株式会社名古屋証券取引所 （名古屋市中区栄三丁目8番20号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第90期 第3四半期連結 累計期間	第91期 第3四半期連結 累計期間	第90期
会計期間	自 平成24年 4月1日 至 平成24年 12月31日	自 平成25年 4月1日 至 平成25年 12月31日	自 平成24年 4月1日 至 平成25年 3月31日
売上高（百万円）	445,268	520,497	599,615
経常利益（百万円）	29,078	35,941	36,777
四半期（当期）純利益（百万円）	17,983	22,333	21,429
四半期包括利益または 包括利益（百万円）	22,978	41,057	39,965
純資産額（百万円）	254,785	305,481	272,144
総資産額（百万円）	472,332	535,087	489,644
1株当たり四半期（当期）純利益 金額（円）	138.99	172.56	165.63
潜在株式調整後1株当たり四半期 （当期）純利益金額（円）	-	172.54	-
自己資本比率（％）	50.4	53.2	51.7

回次	第90期 第3四半期連結 会計期間	第91期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 平成24年 10月1日 至 平成24年 12月31日	自 平成25年 10月1日 至 平成25年 12月31日
1株当たり四半期純利益金額（円）	36.91	68.86

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成していますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。
2. 売上高には、消費税等は含まれていません。
3. 第90期連結会計年度および第90期第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期（当期）純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載していません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ（当社および当社の関係会社）が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

なお、自動車部品事業において第2四半期連結会計期間より、豊田合成ラバメキシコ(株)を新たに設立したため、連結の範囲に含めています。また、当第3四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社であった(株)T G イノアックインドネシアの株式を追加取得し、連結子会社となったため、連結の範囲に含めています。

(注)平成25年11月19日付で、(株)イノアック T G インドネシアは、社名を(株)T G イノアックインドネシアに変更しました。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生はありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」につきましても、重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定または締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期の当社グループの売上高は、主に自動車販売の好調な米州を中心に、海外で堅調に推移したほか、円高修正による為替影響により、5,204億円（前年同四半期比 16.9%増）と増収となりました。

利益につきましては、オプトエレクトロニクス事業の競争激化による低価格化などのマイナス影響がありましたが、自動車部品事業等での増販効果に加えて為替影響や合理化努力により、営業利益は 331億円（前年同四半期比 11.6%増）と増益、経常利益は 359億円（前年同四半期比 23.6%増）、四半期純利益は 223億円（前年同四半期比 24.2%増）と増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

自動車部品事業

主に米州での好調な自動車生産や円高修正による為替影響により、売上高は 4,643億円（前年同四半期比 17.7%増）となり、セグメント利益は 312億円（前年同四半期比 24.8%増）となりました。

オプトエレクトロニクス事業

円高修正による為替影響はありましたが、競争激化による低価格化等の進展により、売上高は 420億円（前年同四半期比 1.7%減）となり、セグメント利益は 17億円（前年同四半期比 60.7%減）となりました。

その他の事業

主に携帯電話筐体や空気清浄機の販売増加により、売上高は 140億円（前年同四半期比 77.9%増）となりましたが、製品構成変動等の影響により、セグメント利益は 1億円（前年同四半期比 46.3%減）となりました。

(2)事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(3)研究開発活動

当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の金額は 215億円です。

なお、当第3四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況について重要な変更はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	200,000,000
計	200,000,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年12月31日)	提出日現在発行数(株) (平成26年2月12日)	上場金融商品取引所名 または登録認可金融商 品取引業協会名	内容
普通株式	130,010,011	130,010,011	東京証券取引所 (市場第一部) 名古屋証券取引所 (市場第一部)	単元株式数 100株
計	130,010,011	130,010,011	-	-

(注) 提出日現在発行数には、平成26年2月1日から当四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれていません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金 増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年10月1日～ 平成25年12月31日	-	130,010	-	28,027	-	29,723

(6)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため記載することができないことから、直前の基準日（平成25年9月30日）に基づく株主名簿による記載をしています。

【発行済株式】

平成25年12月31日現在

区分	株式数（株）	議決権の数（個）	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式（自己株式等）	-	-	-
議決権制限株式（その他）	-	-	-
完全議決権株式（自己株式等）	普通株式 618,400	-	-
完全議決権株式（その他）	普通株式 129,344,000	1,293,440	-
単元未満株式	普通株式 47,611	-	一単元（100株）未満の株式
発行済株式総数	130,010,011	-	-
総株主の議決権	-	1,293,440	-

（注）「株式数」の「完全議決権株式（その他）」の欄には、株式会社証券保管振替機構名義の株式が100株含まれています。また、「議決権の数」欄に、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数1個が含まれています。

【自己株式等】

平成25年12月31日現在

所有者の氏名 または名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数（株）	他人名義所有 株式数（株）	所有株式数の 合計（株）	発行済株式総数 に対する所有株式 数の割合（%）
豊田合成株式会社	愛知県清須市春日 長畑1番地	554,100	-	554,100	0.42
株式会社中勢ゴム	三重県津市安濃町 内多400番地	64,300	-	64,300	0.04
計	-	618,400	-	618,400	0.47

（注）豊田合成株式会社の当第3四半期会計期間末日現在の「所有株式数の合計」は550,300株です。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しています。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）および第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、あらた監査法人による四半期レビューを受けています。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	78,711	89,209
受取手形及び売掛金	102,281	112,514
有価証券	361	1,010
商品及び製品	18,487	15,590
仕掛品	9,320	9,531
原材料及び貯蔵品	20,977	22,500
繰延税金資産	4,374	4,450
その他	10,356	18,676
貸倒引当金	73	74
流動資産合計	244,798	273,409
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	67,177	71,700
機械装置及び運搬具(純額)	70,560	75,149
工具、器具及び備品(純額)	20,522	20,951
土地	23,578	23,776
建設仮勘定	14,324	17,828
有形固定資産合計	196,163	209,408
無形固定資産	2,524	2,728
投資その他の資産		
投資有価証券	32,965	37,712
繰延税金資産	9,967	7,635
その他	3,309	4,288
貸倒引当金	84	95
投資その他の資産合計	46,158	49,541
固定資産合計	244,846	261,678
資産合計	489,644	535,087

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	72,287	82,074
短期借入金	20,473	22,778
1年内返済予定の長期借入金	15,504	31,383
未払費用	24,658	23,896
未払法人税等	6,113	2,549
役員賞与引当金	181	135
製品保証引当金	975	815
従業員預り金	4,492	4,676
その他	13,060	14,045
流動負債合計	157,748	182,355
固定負債		
長期借入金	23,329	11,210
繰延税金負債	3,466	3,718
退職給付引当金	29,436	28,584
役員退職慰労引当金	795	-
その他	2,724	3,737
固定負債合計	59,751	47,250
負債合計	217,500	229,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	28,027	28,027
資本剰余金	29,844	29,882
利益剰余金	198,657	215,261
自己株式	1,327	1,211
株主資本合計	255,201	271,960
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,958	9,757
為替換算調整勘定	9,151	3,068
その他の包括利益累計額合計	2,192	12,826
新株予約権	447	132
少数株主持分	18,688	20,561
純資産合計	272,144	305,481
負債純資産合計	489,644	535,087

(2) 【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	445,268	520,497
売上原価	385,632	451,229
売上総利益	59,635	69,268
販売費及び一般管理費	29,965	36,166
営業利益	29,670	33,101
営業外収益		
受取利息	383	566
受取配当金	280	452
持分法による投資利益	458	341
為替差益	-	1,820
補助金収入	282	730
雑収入	1,279	1,535
営業外収益合計	2,684	5,446
営業外費用		
支払利息	658	760
固定資産除売却損	339	526
為替差損	799	-
デリバティブ評価損	643	730
雑支出	836	588
営業外費用合計	3,276	2,606
経常利益	29,078	35,941
特別利益		
新株予約権戻入益	206	283
特別利益合計	206	283
特別損失		
投資有価証券評価損	2	25
減損損失	40	-
その他	0	3
特別損失合計	43	29
税金等調整前四半期純利益	29,240	36,195
法人税、住民税及び事業税	10,509	10,368
法人税等調整額	370	988
法人税等合計	10,139	11,357
少数株主損益調整前四半期純利益	19,101	24,838
少数株主利益	1,118	2,504
四半期純利益	17,983	22,333

【四半期連結包括利益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	19,101	24,838
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	752	2,792
為替換算調整勘定	3,156	13,185
持分法適用会社に対する持分相当額	30	241
その他の包括利益合計	3,877	16,219
四半期包括利益	22,978	41,057
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	21,507	37,301
少数株主に係る四半期包括利益	1,471	3,755

【注記事項】

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
(1)連結の範囲の変更 第2四半期連結会計期間より、豊田合成ラバーメキシコ(株)を新たに設立したため、連結の範囲に含めています。 当第3四半期連結会計期間より、持分法適用関連会社であった(株)T Gイノアックインドネシアの株式を追加取得し、連結子会社となったため、連結の範囲に含めています。	
(2)持分法適用の範囲の変更 当第3四半期連結会計期間より、(株)T Gイノアックインドネシアの株式を追加取得し、連結子会社となったため、持分法適用の範囲から除外しています。	
(3)連結子会社の決算日の変更 従来、連結子会社のうち決算日が12月31日であった豊田合成ハイフォン社、天津豊田合成(有)、豊田合成(張家港)科技(有)ほか14社および2月28日であった日乃出ゴム工業(株)ほか3社の合計21社につきましては、同日現在の財務諸表を利用し、連結決算日との間に生じた重要な取引について必要な調整を行っていましたが、内12社は第1四半期連結会計期間より決算日を3月31日に変更し、また残り9社については連結決算日である3月31日に仮決算を行い、連結する方法に変更しています。 この決算期変更により平成25年1月1日から平成25年3月31日、および平成25年3月1日から平成25年3月31日までの損益は、利益剰余金の増減として調整しています。	

(会計方針の変更等)
該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)	
(役員退職慰労金制度の廃止) 当社は、平成25年6月19日開催の定時株主総会において、取締役および監査役の退職慰労金制度廃止に伴う打ち切り支給(支給の時期は各取締役および各監査役の退任時)を決議しました。 これに伴い、第1四半期連結会計期間において、当社の「役員退職慰労引当金」の全額を取崩し、打ち切り支給額の未払分697百万円を固定負債の「その他」に含めて表示しています。	

(四半期連結貸借対照表関係)

国庫補助金による圧縮記帳累計額

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
建物及び構築物	103百万円	103百万円
機械装置及び運搬具	1,317百万円	1,317百万円
工具、器具及び備品	7百万円	7百万円
計	1,427百万円	1,427百万円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)およびのれんの償却額は、次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
減価償却費	28,316百万円	28,712百万円
のれんの償却費	13百万円	34百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月20日 定時株主総会	普通株式	2,329	18	平成24年 3月31日	平成24年 6月21日	利益剰余金
平成24年10月31日 取締役会	普通株式	2,329	18	平成24年 9月30日	平成24年 11月26日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成24年6月21日付で平成24年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行いました。また、平成24年11月26日付で平成24年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行いました。この結果、前第3四半期連結累計期間において利益剰余金が4,658百万円減少しています。

これにより、前第3四半期連結会計期間末における利益剰余金は195,210百万円となっています。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

1. 配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月19日 定時株主総会	普通株式	3,364	26	平成25年 3月31日	平成25年 6月20日	利益剰余金
平成25年10月31日 取締役会	普通株式	3,365	26	平成25年 9月30日	平成25年 11月26日	利益剰余金

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、平成25年6月20日付で平成25年3月31日を基準日とする剰余金の配当を行いました。また、平成25年11月26日付で平成25年9月30日を基準日とする剰余金の配当を行いました。この結果、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金が6,730百万円減少しています。

これにより、当第3四半期連結会計期間末における利益剰余金は215,261百万円となっています。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	自動車部品 事業	オプトエレクトロ ニクス事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	394,554	42,824	7,889	445,268	-	445,268
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	7	12	19	19	-
計	394,554	42,831	7,902	445,287	19	445,268
セグメント利益	25,042	4,341	286	29,670	-	29,670

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

当第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高および利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			計	調整額	四半期連結損益 計算書計上額
	自動車部品 事業	オプトエレクトロ ニクス事業	その他の事業			
売上高						
外部顧客への売上高	464,370	42,086	14,040	520,497	-	520,497
セグメント間の内部 売上高または振替高	-	11	16	28	28	-
計	464,370	42,098	14,056	520,525	28	520,497
セグメント利益	31,243	1,704	153	33,101	-	33,101

(注)セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しています。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額および算定上の基礎は次のとおりです。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	138円99銭	172円56銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	17,983	22,333
普通株主に帰属しない金額(百万円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	17,983	22,333
普通株式の期中平均株式数(千株)	129,385	129,426
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	-	172円54銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(百万円)	-	-
普通株式増加数(千株)	-	11
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変更があったものの概要	-	-

(注) 前第3四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、希薄化効果を有している潜在株式は存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

中間配当に関する取締役会の決議は、次のとおりです。

- | | |
|------------------------|-------------|
| (イ) 決議年月日 | 平成25年10月31日 |
| (ロ) 中間配当金の総額 | 3,365百万円 |
| (ハ) 1株当たりの金額 | 26円 |
| (ニ) 支払請求の効力発生日および支払開始日 | 平成25年11月26日 |

(注) 平成25年9月30日現在の株主名簿に記載または記録された株主に対し、支払を行いました。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年2月12日

豊田合成株式会社

取締役会 御中

あらた監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 西川 浩司

指定社員
業務執行社員 公認会計士 戸田 栄

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている豊田合成株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年10月1日から平成25年12月31日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年12月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、豊田合成株式会社及び連結子会社の平成25年12月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しています。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBR Lデータ自体は含まれていません。